

国内最高水準の施設を利用してみよう!

センターには、全天候舗装の「陸上競技場」を中心に、充実した施設環境を整えており、事前予約制でどなたでも利用できます。

所在地 曾於郡大崎町菱田 1441  
TEL 099-477-1102



センター全景(敷地約9.5ha)



トリニダード・トバゴ陸上チーム練習風景



トリニダード・トバゴ陸上チームの歓迎セレモニー

室内競技場

全天候舗装の150m×5レーンの日本陸連公認施設。冷暖房完備の150m直走路は、国内最長。棒高跳び等のトラック競技にも対応できる高さ(10m)を備えています。



投てき練習場

複数種目を同時に練習できる全国でも珍しい投てき専用練習場。パラ陸上競技選手がトレーニング可能な投てき台や、車いす留めの設備も設置されています。



ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅の施設概要や予約方法、イベント情報などはコチラ



トリニダード・トバゴ陸上チームキャンプの様子(2019年5月)

スポーツかごしま

昨年開催されたインターハイに続き、今年10月に迫ったかごしま国体・かごしま大会。スポーツのビッグイベントが続く今、スポーツを「する」・「みる」・「ささえる」をテーマに県内各地のさまざまな活動をシリーズで紹介します。

VOL.05 スポーツをささえる



センターで開催された子ども向けイベント

**スポーツで大隅を活性化**  
センターは、一般向けのランニング指導など各種イベントも開催しているほか、健康づくりの場として誰でも気軽に利用することが出来ます。  
センター周辺にはさまざまなスポーツ施設や宿泊施設などがあり、アスリート食の「レシピ集」の作成や、センターと鹿屋体育大学のスポーツパフォーマンス研究センターが連携したトップアスリートに対する科学的サポートの実施など、地域全体で合宿を受け入れる環境整備が進んでいます。さらに、自治体や関係団体など、地域一体となった合宿誘致も進めています。  
こうした取り組みを通じて、大隅地域がますます活性化していくことが期待されます。

大隅から世界へ!  
トップアスリートが集う南の拠点づくり

ジャパンアスリート  
トレーニングセンター大隅

スポーツを通じた交流人口の拡大による大隅地域の活性化を図るため、大崎町の有明高校跡地に県が整備した「ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅」。陸上競技のトレーニングに特化した、国内最高水準のスポーツ合宿拠点施設として昨年4月にオープンしました。  
海外のトップアスリートで初めて合宿を行ったトリニダード・トバゴのリレーチームは、5月に横浜で行われた世界大会で見事メダルに輝きました。センターは、室内競技場や傾斜走路などを備えた全天候型のトレーニング施設となっており、選手からも「これほど充実した環境は他にない」、「天候を気にせず、練習メニューが消化できる」との声が聞かれました。

オープンから半年間で、利用者数は約2万2000人に達しました。現在県では、東京オリンピック・パラリンピックに向けた合宿誘致にも取り組んでおり、今後国内外のトップ選手による合宿が相次いで予定されています。  
また、地元の小学校で、合宿に訪れたトリニダード・トバゴや台湾の陸上選手と子どもたちとの陸上教室や交流会が開催されるなど、選手と地域住民との交流も行われています。



センター長 松元弘二さん

センター長の松元弘二さんは、「ここで練習した子どもたちが将来、世界レベルで活躍してくれたらうれしい」と話します。

鹿児島  
ヒーロー伝



窪田(旧姓:荒木) 久美さん  
1988年ソウルオリンピック出場  
1965年福岡県生まれ

駅伝選手として鹿児島へ  
若い世代の活躍を応援

窪田さんは高校3年生の時に全国都道府県対抗女子駅伝大会に初出走。駅伝の魅力に引き込まれ、高校卒業後、長距離走選手として鹿児島の京セラ国分工場に入社しました。

10年間の選手生活の中では、全国都道府県対抗女子駅伝大会や全日本実業団女子駅伝大会で優勝に貢献したほか、ソウルオリンピックや北京アジア大会ではマラソンの日本代表選手として出場するなど、輝かしい実績を残しています。現在も霧島市に在住し、県体育協会競技力向上委員会委員長としてアスリートの活動をサポートしながら、若い世代の活躍を温かく見守っています。

次号の特集は  
鹿児島島の  
プロスポーツが熱い!